第 **14** 講　【国際編】国際経済

PART1 貿易と国際収支

Chapter1　国際分業と貿易

目標　垂直貿易が続くと起こる，発展途上国にとって不都合なことを理解しよう。
日本の最大の貿易相手国の推移をおさえよう。

1　国際分業と貿易

国際分業における貿易類型は，国境をまたぐ同産業内での工程間分業のための貿易や，多国籍企業の本社と他国の子会社との間の企業内貿易が増えるなど，以下の①②に限らず多様化している。

①〔　　　　　〕**的分業→**水平貿易

先進工業国間での工業製品どうしの交換。

※先進国の多国籍企業が発展途上国へ進出して途上国も工業化してきたことで，世界的に水平貿易化が進んでいる。

②〔　　　　　〕**的分業→**垂直貿易

先進工業国と発展途上国間の，工業製品と**一次産品**（＝食料・原材料・地下資源）や部品との交換。

※垂直貿易が続くとＮＩＥＳ〔新興工業経済地域〕と産油国を除く途上国は
〔　　　　　　　　　　　　　　　〕**経済**から抜け出せない。

2　貿易

①貿易に関する２論

イギリスによる産業革命の達成を受けて 19 世紀前半に発生。

Ａ〔　　　　　　　　〕**論→**国家や国際社会が貿易に介入しない

リカード（英）が唱えた**比較生産費説**は自由貿易の効用と国際分業の利益を説く。

※２国が得意分野の生産に特化〔特定化〕して輸出し，不得意分野は輸入したほうが双方や国際社会に利益をもたらすとした。

Ｂ〔　　　　　　　　〕**論→**国家や国際社会が貿易に介入する

リスト（独）が唱えた**経済発展段階説**は，国家による保護貿易を説く。

※各国の産業発展の度合いには差異があり，発展途上国の工業化には幼稚産業の保護・育成が必要であるとした。

②日本の貿易➡ 2020年のデータ

A　世界の貿易総額ランキング

1位　中国　2位　アメリカ　3位　ドイツ　4位〔　　　　〕5位　オランダ

B　日本の貿易相手国（輸出入額）ランキング

1位〔　　　　〕**2位　アメリカ　3位　韓国**　4位　台湾　5位　タイ

C　日本の輸出相手国輸出額ランキング

1位　中国　2位　アメリカ　3位　韓国　4位　台湾　5位　香港

D　日本の輸入相手国輸入額ランキング

1位　中国　2位　アメリカ　3位　オーストラリア　4位　台湾　5位　韓国

E　日本の品目別輸出額ランキング

1位〔　　　　　　〕2位　半導体電子部品　3位　自動車部品　4位　鉄鋼

5位　半導体製造装置

F　日本の品目別輸入額ランキング

1位〔　　　　〕2位　天然ガス　3位　医薬品　4位〔　　　　　　〕

5位　衣類

自動車の輸出（名古屋港）

石油タンカー

まとめ　垂直貿易が続くと発展途上国はモノカルチャー経済段階に留まってしまう。日本の最大の貿易相手国は，日米安全保障条約を結ぶアメリカから近隣の中国へと移行した。

Chapter2　国際収支と外国為替

目標
国際収支とはどういうものか理解しよう。
外国為替とはどういうものか理解しよう。

1　国際収支

ある国の一年間における対外取引を体系的に示したものを〔　　　　　　　　〕という。

①**国際収支表→**「経常収支＋資本移転等収支－金融収支＋誤差脱漏＝０」

A　〔　　　　〕**収支**

資金が自国に入ってくる場合は黒字，外国に出ていく場合は赤字。

あ　**貿易・サービス収支**→財・サービス（知的所有権を含む）

い　第一次所得収支→雇用者報酬・投資収益など

う　第二次所得収支→消費財にかかわる無償資金援助・国際機関への拠出金・労働者送金など

B　**資本移転等収支**

対価をともなわない固定資産の移転や債務免除，非生産・非金融資産の取得・処分についてまとめたもの。

※発展途上国への社会資本への無償援助金など。

C　**金融収支**

対外資産･対外負債ともに，増加する場合はプラス，減少する場合はマイナスとして計上。

※その差額が金融収支となる。

あ　直接投資→現地生産や経営権取得を目的とする

い　証券投資→配当金や利子収入を目的とする

う　金融派生商品〔デリバティブ〕

え　その他投資

現地生産

お　外貨準備→政府や中央銀行が利用・調整できる外国通貨や金・ＳＤＲ

D　**誤差脱漏**→統計上の誤差や漏れ

②国際収支と経済・政治摩擦

A　日本の**貿易摩擦**→ 1980年代以降（近年は貿易赤字だが世界最大の債権国）

B　外貨準備高→日本は中国に次ぐ世界第２位

C　経済摩擦・政治摩擦→世界経済の安定には国際収支の均衡がある程度必要

2 外国為替

現金を用いず，輸出入などの国際間取引・国際資金移動の決済を行う方法・手段を〔　　　　　　　〕という。

※国際間取引はかつて金により決済されたが現在では**外国為替手形**を用いるのが一般的。

①**外国為替市場**

インターバンク〔銀行間〕市場と対顧客市場とに分かれる。

②**外国為替相場〔外国為替レート〕**

異なる外貨の交換比率。相場の変動幅を一定枠内に固定した**固定相場制**と，外国為替市場の市場メカニズムに委ねる**変動相場制**がある。

※例えば円の需要が多ければ「円買い」が進み価格が上がり〔　　　　〕（＝外国通貨に比べ円の価値が高い）となる。逆に円の供給が多ければ「円売り」が進み価格が下がり〔　　　　〕（＝外国通貨に比べ円の価値が低い）となる。

③為替相場変動の要因

貿易にともなう通貨交換以上に，資本移動にともなう通貨交換が大きな要因。

A　ファンダメンタルズ説→長期的要因

B　内外金利差要因説

C　購買力平価説

D　国際収支説

E　その他の要因→各国の金融政策・為替介入・**ヘッジファンド**による投資・投機など

④為替相場と貿易

為替相場の変動は国際収支の均衡をはかる機能を持つ。乱高下を防止するため各国の通貨当局（日本では日本銀行）がインターバンク市場に**公的介入**し，為替レートの誘導や安定化をはかることがある。

まとめ

ある国の一年間における対外取引を体系的に示したものを国際収支という。
現金を用いず，輸出入などの国際間取引・国際資金移動の決済を行う方法・手段を外国為替という。

第14講 PART1 確認問題

1 水平的分業の説明として正しいものはどれか。

① 先進工業国間での工業製品どうしの交換
② 先進工業国間での一次産品・部品の交換
③ 先進工業国と発展途上国間での工業製品どうしの交換
④ 先進工業国と発展途上国間での工業製品と一次産品・部品の交換

2 自由貿易論を唱えたのはだれか。

① リスト　② アダム＝スミス
③ マーシャル　④ リカード

3 リカードが唱えたのはどれか。

① 比較生産費説　② 人口論
③ 自由放任主義　④ 経済発展段階説

4 世界の貿易総額に占める貿易額の割合が最も多い国はどこか。

① アメリカ　② 日本
③ 中国　④ ドイツ

5 日本最大の貿易相手国はどこか。

① アメリカ　② 台湾
③ 韓国　④ 中国

6 日本の輸出品のうち，輸出額が最も高い品目はどれか。

① 自動車　② 半導体電子部品
③ 半導体製造装置　④ 自動車部品

7 日本の輸入品のうち，輸入額が最も高い品目はどれか。

① 衣類　② 医薬品
③ 石油　④ 天然ガス

8 経常収支のうち，第一次所得収支にあてはまるのはどれか。

① 労働者送金　② 消費財にかかわる無償資金援助
③ 雇用者報酬　④ 国際機関への拠出金

9 国際収支表で，外貨準備が含まれる項目はどれか。

① 経常収支　② 資本移転等収支
③ 金融収支　④ 誤差脱漏

10 円高の説明にあてはまるのはどれか。

① 円の需要が増えて価格が下落　② 円の需要が増えて価格が上昇
③ 円の供給が増えて価格が下落　④ 円の供給が増えて価格が上昇

第 14 講　PART1　確認問題　解答

1 **解答：①**　水平的分業は水平貿易とも呼ばれる。

②：水平的分業は先進工業国間での工業製品どうしの交換。
③：水平的分業は先進工業国間での工業製品どうしの交換。
④：垂直的分業の説明である。

2 **解答：④**　自由貿易論とは国家や国際社会は貿易に介入すべきではないという理論。

①：国家や国際社会が貿易に介入すべきという保護貿易論を唱えた。
②：自由放任主義を唱えた。
③：新古典派経済学の創始者。

3 **解答：①**　比較生産費説とは，２国が得意分野の製品の生産に特化〔特定化〕して輸出し，不得意分野の製品は輸入したほうが双方や国際社会に利益をもたらすとした理論。

②：人口と食料の関係について説明したマルサスの主著。
③：アダム＝スミスが唱えた理論。
④：リストが唱えた理論。

4 **解答：③**　中国は世界の輸出総額ランキングで１位である。世界の輸入総額ランキング１位はアメリカ。

①：中国に次いで２位である。
②：４位である。
④：３位である。

5 **解答：④**　日本の貿易は対アジア貿易が中心となっている。

①：2 位である。
②：4 位である。
③：3 位である。

6 **解答：①**　自動車は輸出総額の約 14%を占めている（2020年）。

②：2 位である。
③：5 位である。
④：3 位である。

7 **解答：③**　石油は輸入総額の約 7%を占めている（2020年）。

①：5 位である。
②：3 位である。
④：2 位である。

8 **解答：③**　第一次所得収支の項目には雇用者報酬，投資収益などがある。

①：第二次所得収支にあてはまる。
②：第二次所得収支にあてはまる。
④：第二次所得収支にあてはまる。

9 **解答：③**　外貨準備とは政府や中央銀行が利用・調整できる外国通貨や金・ＳＤＲのこと。

①：経常収支は貿易・サービス収支，第一次所得収支，第二次所得収支に分けられる。
②：対価をともなわない固定資産の移転や債務免除，非生産・非金融資産の所得処分についてまとめたもの。
④：誤差脱漏は統計上の誤差や漏れのこと。

10 **解答：②**　円高とは外国通貨に比べて円の価値が高いことをいう。

①：円の需要が増えると「円買い」が進み価格が上がる。
③：円安の説明である。
④：円の供給が増えると「円売り」が進み価格が下がり円安となる。